

# 2019 豊島区生活支援体制整備事業

新たな時代を、新たな体制で・・・

## ●生活支援体制整備事業（生活支援コーディネート事業） 【2019年度】

### 豊島区生活支援体制整備事業

#### 業務内容

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくため、生活支援コーディネーター（第一層）を設置し、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制構築に向けたコーディネート機能を果たす協議体の運営等に係る下記の業務を実施する。

(1) 第一層となる区全体を統括する協議体及び作業部会の運営に係る事務局となる

①開催の案内

②会議資料・記録の作成

③会議の進行・ファシリテーション

協議会構成 ①民生児童委員 ②区民ひろば ③商店会 ④在宅サービス事業者（通所及び訪問）⑤浴場組合 ⑥シルバー人材センター ⑦高齢者クラブ連合会 ⑧教育機関  
⑨金融機関 ⑩基幹型包括 ⑪生活支援コーディネーター 他事務局（社協、区）

(2) 地縁団体等多様な主体への協力依頼などの働きかけ

地域主体の支え合いのしくみづくりの重要性などについての啓発及び周知

(3) 関係者のネットワーク

地域の情報を把握しているCSW、地域包括支援センター等と連携したネットワークづくり

(4) 地域のニーズと資源の状況の見える化、課題提起

既存の地区懇談会（8包括圏域で実施）、区民ミーティングなどから得られた情報を活用し、協議体の構成メンバーと共有することによる課題提起及び課題解決のための取組案の検討

(5) 試行的取組の実施と検証

新たな地域のささえあい活動やサービスの実施及びその必要性・効果・課題・実用性等についての検証

(6) 地域資源情報データベースシステムによる上記業務の推進

■ 会議体のスケジュール ※作業部会については必要に応じ設置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会			①			②			③			④
作業部会※				①			②			③		
地域資源PT		← 開催回数未定 →									← 開催回数未定 →	

■ 協議会の活動

- 1 地域活動団体のネットワークづくり ⇒ 地域活動実践を報告・共有し互いに交流する機会の創出
- 2 第1層と第2層との連携 ⇒ 第1層協議体での協議内容を第2層へ伝える仕組みについて検討
- 3 3つの作業部会で整理した地域課題について検討の継続 ⇒ 取組案を協議会にて検討
- 4 地域課題解決のための取組案の検討  
⇒ 地域ケア会議全体会議より受ける提言内容に基づき、地域課題解決のための取組案を検討する。

(生活支援コーディネーターの活動)

(1) 第1層協議体及び作業部会の運営

(2) 地域主体の支え合いのしくみづくりの重要性などについての啓発及び周知

(3) 地域の情報を把握しているCSW、高齢者総合相談センターと連携したネットワークづくり

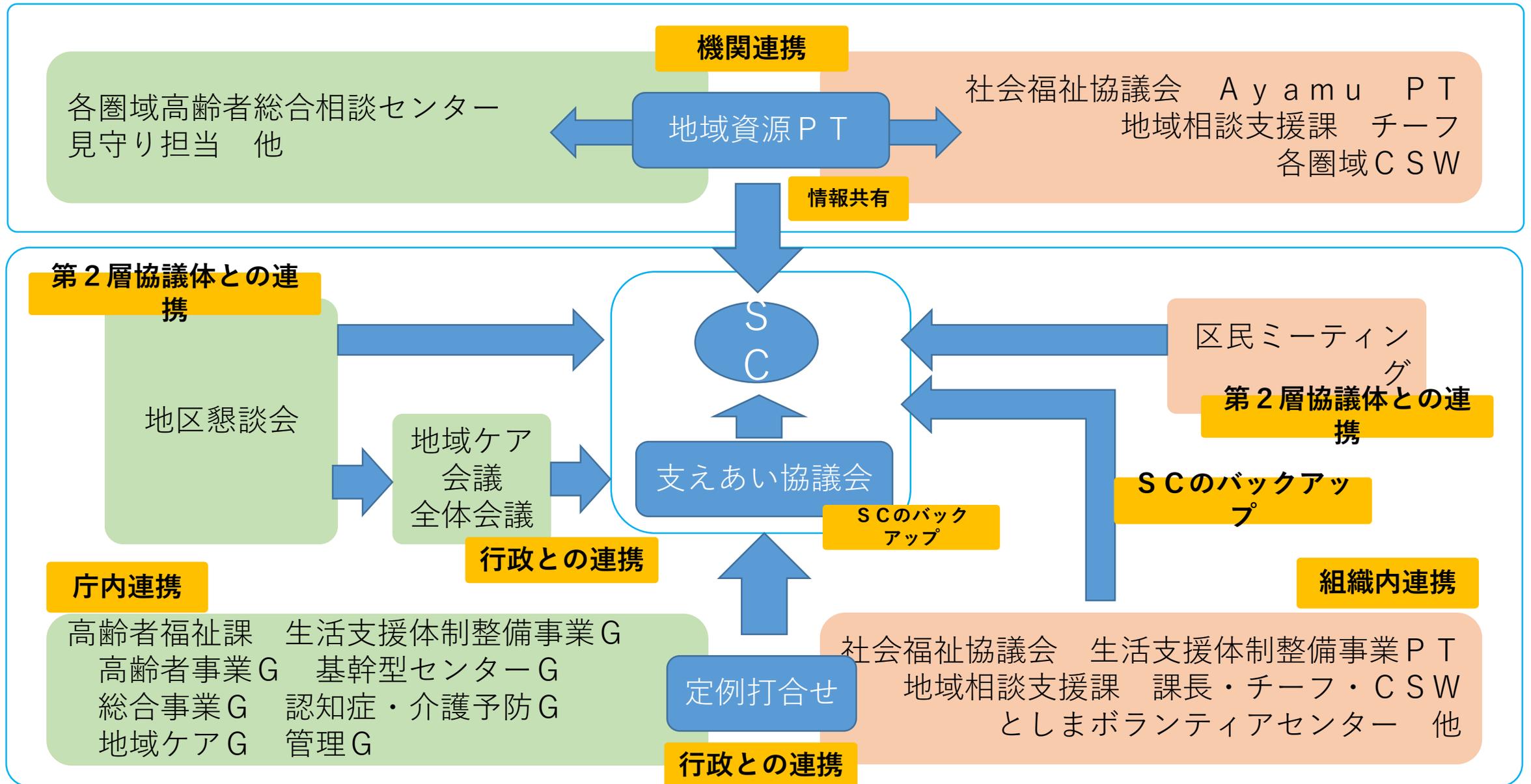
(地域資源PTの運営)

(4) 第2層圏域からの情報を活用した、地域課題提起・解決のための取組案の検討

(5) 新たな地域のささえあい活動の実施状況の把握、その必要性・効果・課題・実用性等について検証

(6) 地域資源情報データベースシステム (Ayamu) の活用

# 生活支援コーディネーター（SC）を支える仕組みづくり 2019～



# おわりに・・・

・ようやく生活支援Coを軸に生活支援体制整備事業に取り組むためのチーム構造を描くことができた。

⇒ どう動かしていく？

## 懸案事項

- 3つの作業部会での話題を今後どう扱う？
- 地域ケア会議全体会議からの提言への対応
- 地域資源PTの運営
- 協議会メンバーの補充について

## 思うところ・・・

第1層協議体では何をすべき、何ができる？

何のために？ 誰のために？ ……今だから、「理念的な話題」が必要なのでは？

”地域の支えあいの仕組み“ ……「名は体を表す」という話題もありました

⇒ 「地域」とは？ ……ご近所だからできること、成り立つこと

ソーシャルサポートネットワーク

「生活支援」とは？ ……普通に暮らし続けること 「制度」「ビジネス」「支えあい」

